

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.40		-	3.7
1 音環境					3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル			—		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能			専有部分:T-2以上		3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能			—		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			—		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			—		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音			—		-	-	-	-	
2 温熱環境					2.2	0.35	5.0	1.00	4.5
2.1 室温制御			—		2.2	0.50	5.0	1.00	
1 室温			断熱等性能等級5		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能					1.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性			—		-	-	-	-	
2.2 湿度制御			—		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			—		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.3	0.25	3.1	1.00	3.0
3.1 昼光利用			—		1.8	0.30	2.5	0.30	
1 昼光率			—		1.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口			—		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備			—		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御			カーテン(レール設置)と庇(バルコニー)で昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			—		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御			—		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量			—		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			—		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			—		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視			—		-	-	-	-	
2 喫煙の制御			—		-	-	-	-	
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.1
1 機能性					2.4	0.40	3.8	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ			—		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			Gbitクラスのブロードバンド(光ファイバー)引込		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画			—		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			—		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			—		-	-	-	-	
3 内装計画			—		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			—		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			—		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振			—		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			—		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			—		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			—		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			—		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			—		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水:PEP(B)、排水:VP(B)、消火:SGP(C)、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			—		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			—		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			—		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備			—		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			—		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			—		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.0	0.30	2.6	1.00	2.6
	3.1 空間のゆとり			-	-	2.2	0.50	
	1	階高のゆとり	—	1.0	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—	1.0	-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出		—	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		—	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制		断熱等性能等級5	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.76	4.4	0.50	-	-	4.4
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.4	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.9
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減		—	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS下地を採用	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつ、GWP=10以下の発泡剤を採用	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮		LCCO2排出率89%	3.4	0.33	-	-	3.4
2	地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		－	○	○	○	－	○	－	－	－	○	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0			－	－	－	○	－	○	－	○	○	－	○	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	－	－	－	－	－	－	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0		－	－	2.0	－	－	－	1.0	－	－	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		－	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		－	1.0	－	2.0	－	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	－	－	－	1.0	－	－	1.0	3.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	1.0	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		1.0	1.0	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		－	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.6	窓の日射熱取得率(η) 0.5						
U値(W/m2K)	窓システム	-	屋根	-	外壁	-	床	-
住戸部分	窓システムU値	3.0	外皮UA値	0.4	η AC	1.0	η AH	0.7
昼光率	-							
自然換気有効開口面積率	-							

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	－	/人	病床	－	/床	シングル	－	ツイン	－
--------	---	----	----	---	----	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	－	VA/m ²
---------	---	-------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	－	m
-----	---	---

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	－	レストスペース	－
------------	---	---------	---

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	－	年
--------	---	---

2.2.2 外壁仕上り材の補修必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.3 主要内装仕上り材の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

3.1.1 階高のゆとり

階高	－	m
----	---	---

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	－	
-------	---	--

3.2 荷重のゆとり

床荷重	－	N/m ²
-----	---	------------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	28%	建物緑化指数	0%		
--------	-----	--------	----	--	--

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	－	水平投影面積率	－	地表面対策面積率	－	舗装面積率	－
-----	---	---------	---	----------	---	-------	---

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	－	断熱等性能等級	等級5 相当		
----------------------	---	---------	--------	--	--

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	－	採光を満たす住戸数	－
--------------	----------------------	-----------	---	-----------	---

通風を満たす教室数	－	通風を満たす住戸数	－
-----------	---	-----------	---

太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
-----	------	------	------	-----	------

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

BEI/BEI _m	再エネ有	－	無	－	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	---	---	---	-----------	---	---

集合住宅の評価

一次エネ削減率	再エネ有	24%	無	24%		－
---------	------	-----	---	-----	--	---

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比		-		隣棟間隔指標Rw		-													
地表面対策面積率		15.5%		屋根面対策面積率		#DIV/0!		外壁面対策面積率		#VALUE!									
見付面積Sb		-		卓越風向と直交する最大敷地幅Ws		-		m		基準高さHb		-		m					
緑地		㎡		水面		㎡		保水性対策面		㎡		高反射対策面		㎡		再帰性反射対策面		㎡	